

教員氏名	柳田 綾	職位	准教授
最終学歴	School for International Training		
学位	Master of Arts in Teaching (TESOL)		
役職		委員会	入試委員会
担当科目	「英語科教育法 III, IV」 「教職実践演習」 「English Presentation I, II」 「English Phonetics I, II」 「Basic Seminar III, IV」 「Seminar I - IV」 「英語資格講座 ID, IID」		
教科書・教材・教育方法の実践例	1. 「Basic Seminar III」において「言の葉大賞」エッセイ応募など、授業外における学習効果促進のための取り組み 2. 「Phonetics I, II」において Moodle と YouTube を活用し、録音課題、パフォーマンス・テスト、洋楽ディクテーション、映画アフレコ、ウィスパーフォン、リフレクションなど多様なメディア・教材を利用した授業展開 3. 「Basic Seminar III, IV」 「Seminar I, II」において構成的グループエンカウンター・協同学習の手法を活用したグループワークを取り入れた授業展開		
教育研究業績	1. フォーカス・オン・フォームでできる！新しい英文法指導アイデアワーク 高校（平成24年4月 明治図書） 2. ワーク&評価表ですぐに使える！英語授業を変えるパフォーマンス・テスト 高校（平成26年7月 明治図書） 3. 高校英語授業を知的にしたい 内容理解・表面的会話中心の授業を超えて（平成28年6月 研究社） 4. グラマーノート・ベーシック（平成29年 大修館書店） 5. 「サンタクロースはいるの？-創造力・想像力を育てる heartwarming な授業-」 『新英語教育』2017年11月号 pp. 34-35 6. 効果的な音声指導項目の提示とは—高等学校英語教科書分析から— 桜花学園大学学芸学部研究紀要, 9, pp.79-92（2018年2月） 7. 英語音声学授業における発音指導の実践報告—楽しく効果的な発音指導法とは— 中部地区英語教育学会『紀要48』pp.221-228（2019年2月） 8. 批判的思考を促す高校英語教員研修の実践報告—経験学習とリフレクションを通して—桜花学園大学学芸学部研究紀要, (11), 53-66（2019-11-30） 9. 課題別研究プロジェクト：「CLIL とアクティブラーニングによる外国語教育の可能性」中部地区英語教育学会『紀要49』pp.359-361（2020年1月31日） 10. 大学受験指導をコミュニカティブに—プロセスアプローチを活かしたライティング授業実践— 桜花学園大学学芸学部研究紀要, (13), 45-78（2020-11-30） 11. HLT (Humanistic Language Teaching) 授業の現代的定義試案：これからのヒューマニスティック英語教育づくりガイド ヒューマニスティック英語教育研究会紀要第一号, 16-26. (2020-4-10) 12. Recipe for a Communicative Grammar ヒューマニスティック英語教育研究会紀要第一号, 109-112. (2020-4-10) 13. コミュニカティブな文法授業のレシピ ヒューマニスティック英語教育研究会紀要第一号, 113-117. (2020-4-10)		

	<p>14. 教室を豊かな学び合いの場に ～協同学習・学習集団づくりのすすめ！ 第71回 “good things in a Happy Jar”—いいこと貯金『新英語教育』2022年2月号 pp. 20-21</p> <p>15. The Characteristics of English Pronunciation of Japanese University Students -Analysis of English Pronunciation Test - 桜花学園大学学芸学部研究紀要, (16), 29-38. (2022-03-15)</p>
<p>所属学会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. JALT (全国語学教育学会) 2. 中部地区英語教育学会 3. 全国英語教育学会 4. 外国語教育メディア学会 5. 日本協同教育学会 6. ヒューマニスティック英語教育研究会